

素直に身近なところから

モーニングセミナー

今日一日、朗らかに
安らかに、喜んで
進んで働きます。

<制作・著作>
新居浜別子倫理法人会
TEL 0897-65-1644
FAX 0897-65-1644
beturin@mx82.tiki.ne.jp

心のラーメン

正直な心と繋がれるように

IT技術の発達した現代では、人と人とのコミュニケーションは、色々様々な方法でとることが可能です。それは、携帯電話であったり、携帯メールであったり、

逢いにこう

FAXであったり、手紙やハガキであったり、電子メールでもとることが可能です。けれど、やはり、私は直接顔を合わせるの一番だと思

います。 たとえ、それが一瞬だった話で話すよりも、ほんの十秒でもいいですから直接会って目を見てお話ししましょう。そういう姿勢を大事にする生き方が、私は好きです。

延々と一時間も二時間も電

ているようですが、「流れ星が消えるまでに三度願い事をすると願い事は叶う」と言われていて、自分のことを願うのか、相手のことを願うのか、願い事には、もろに人柄が出、「たらいの水」の逸話は象徴的です。

藤子・F・不二夫さんの漫画のキャラクターに、ラーメン好きの「小池さん」という人が出て来ます。三度の飯よりインスタントラーメンが大好きという、そう、あの人です。彼は、料理の得意な女性と結婚しますが、小池さんの家に行って来た奥さんは、一緒に生活を始めた当初、その極端な食生活に驚きました。

情たつぷりのラーメンを手づくり始めたのです。ところが、奥さんの努力に反比例するように、小池さんは、どんどん元気がなくなっていく行きました。たしかに、奥さんの手づくりラーメンは、心がこもっていて、有り難くて嬉しいのですが、小池さんは、「インスタントラーメン」が好きなのです。そのうちに、とうとう我慢しきれなくなって、奥さんに隠れて、こっそり、インスタントラーメンを食べ

てしまいます。しかし、前向きな小池さんの奥さんは、「美味しいラーメンなら、私に任せて！」とばかりに、小池さんの健康を一生懸命に考えて、愛

さげました。私達は、「歩く」ということを、書物などから学んで出来るようになったわけではなく、

体験と習慣

失敗を恐れるな

私達は、「歩く」ということを、書物などから学んで出来るようになったわけではなく、もし仮に、「歩く」ということを、理論的に事細かく学んだとしても、それだ

けで自然に歩くことが出来るようにはなりません。また、私たち人間は、一度体験したからといって、直ぐそれが出来るようになるわけでもありません。たとえば、それは、赤ち

やんが、ハイハイしている段階から、何度も立ち上がり、ろうと試みて、やがて掴まり立ちが出来てくるようになります。転びながらも段階を踏んで歩けるようになって行くようなものなのです。

人というものは、「体験と習慣の生き物なのだ」とつくづく思います。私達は、失敗を繰り返しながら、体験し身につけたことしか、本当にはわからないものなのかも知れません。

講演会等に出席すると、多くの先生方に、「夢や目標は、紙に書き出してみましよう」と教えて頂きます。頭の中で思っているだけでは、すぐ忘れてしまっし書き出すことで、思考の整理にもなる、と言うことなのだと思えます。この文章を読んでいるあなた。今すぐ実践してみましよう。

砂漠緑化活動を熱く語る高橋哲也講師



砂漠に虹が架かるまで

も大事なことでなければ、自分にとつての幸福は、いつ小池さんと一緒にいて、共に幸せを感じるようなのだ、ということに。そこで、奥さんは、小池さんと一緒に、同じインスタントラーメンを食べることを決めたのです。

今年度、倫理研究所は「日本創生」「地球倫理の推進」を大きな目標としています。その中で、鳥取大学名誉教授、故遠山正瑛先生のもと、中国内モン古自治区クブチ沙漠の恩格貝において植林活動を開始した中国緑化事業に、私も十三年前から四度お手伝いに参加させて頂きました。

平成二十二年十二月十五日、第二百八十八回モーニングセミナーが開催され、法人局普及事業部企画室研究員、高橋哲也氏を講師に、「砂漠に虹が架かるまで」と題し、「講演頂きました。私の出身は、小田原提灯や箱根駅伝小田原中継所のある神奈川県西部の小田原市です。実は万人幸福の菜に「たらいの水」の話が出て来る「宮尊徳先生生誕の地」でもあります。昨日から今朝にかけて双子座流星群のピークになっ

え転んでも、失敗しても、自分自身の足で立ち上がり、とにかく自ら歩くようにすることです。何度も失敗が積み重なってしまっただとしても、失敗を恐れず、臆せず前向きな姿勢を保ち、どんどん積極的に体験することです。体験して得た貴重な経験を、丁寧になぞって、自身自身の行動に組み入れ、自分の習慣にすることです。

紙に書き出す